

夏越の大祓式

のご案内

日にち 令和七年六月三十日(月)午後五時より

場所 千歳神社(神殿前)

- ・当日は午後四時より受付いたします。
- ・受付時、人形の入った封筒に初穂料を添えてお預け願います。

※当日参列できない方は、

人形を事前にお預かりいたします。

お祓いはらを希望される方は、左記期間中に『茅の輪くぐりちわ』『人形ひとがた祓いはら』を各自で行って頂き、人形は初穂料を添えて社務所にお預ひとがたけください。お預かりした人形は大祓式にてお祓いはら致します。

◇茅の輪くぐりちわ

設置期間 七月一日まで

※各自、茅の輪をおくぐり頂ききご参拝ください。

◇人形のお祓いひとがた はら

受付期間 七月一日まで

※社務所までお持ちください。

※夏越大祓・茅の輪神事

希望の方は社務所へお越し下さい



千歳神社

夏越の大祓 なごし おおはらへ

みなづき

えきびよう

かつて水無月の頃というのは、疫病などが流行りやすい時季として恐れられ、身に罪や穢れがあると災難や病気などに悩まされると言われてい

み つみ けが

さいなん びようき

ました。現在でも、季節の移り変わり目で体調を崩しやすい時季にあたり、

みなづき

み

つみ

けが

はら

すこ

水無月には半年間で身についた罪や穢れを祓い清めて、健やかに夏を越せ

るよう祈るようになり『夏越の大祓』が行われております。

なごし

おおはらへ

茅の輪くぐり ち わ

昔、旅中の素戔鳴尊をお泊めした蘇民将来とい

すさのおのみこと

そみんしょうらい

う人物が、素戔鳴尊の教えに従い疫病を避けるた

すさのおのみこと

えきびよう

めに茅の輪を腰につけたところ疫病の災難から

ち

わ

えきびよう

さいなん

逃れることができたという古事から、茅の輪をくぐる風習が広まりました。

ふうしゅう



人形のお祓い ひとがた はら

ひとがた

はら

日々の穢れを紙の人形にうつして身を清めるお祓いです。

けが

ひとがた

はら

人形の表に氏名を記し、その人形で身体（頭・肩・胸・足腰・健康に不

ひとがた

ひとがた

安な箇所）を撫でいただきます。

な